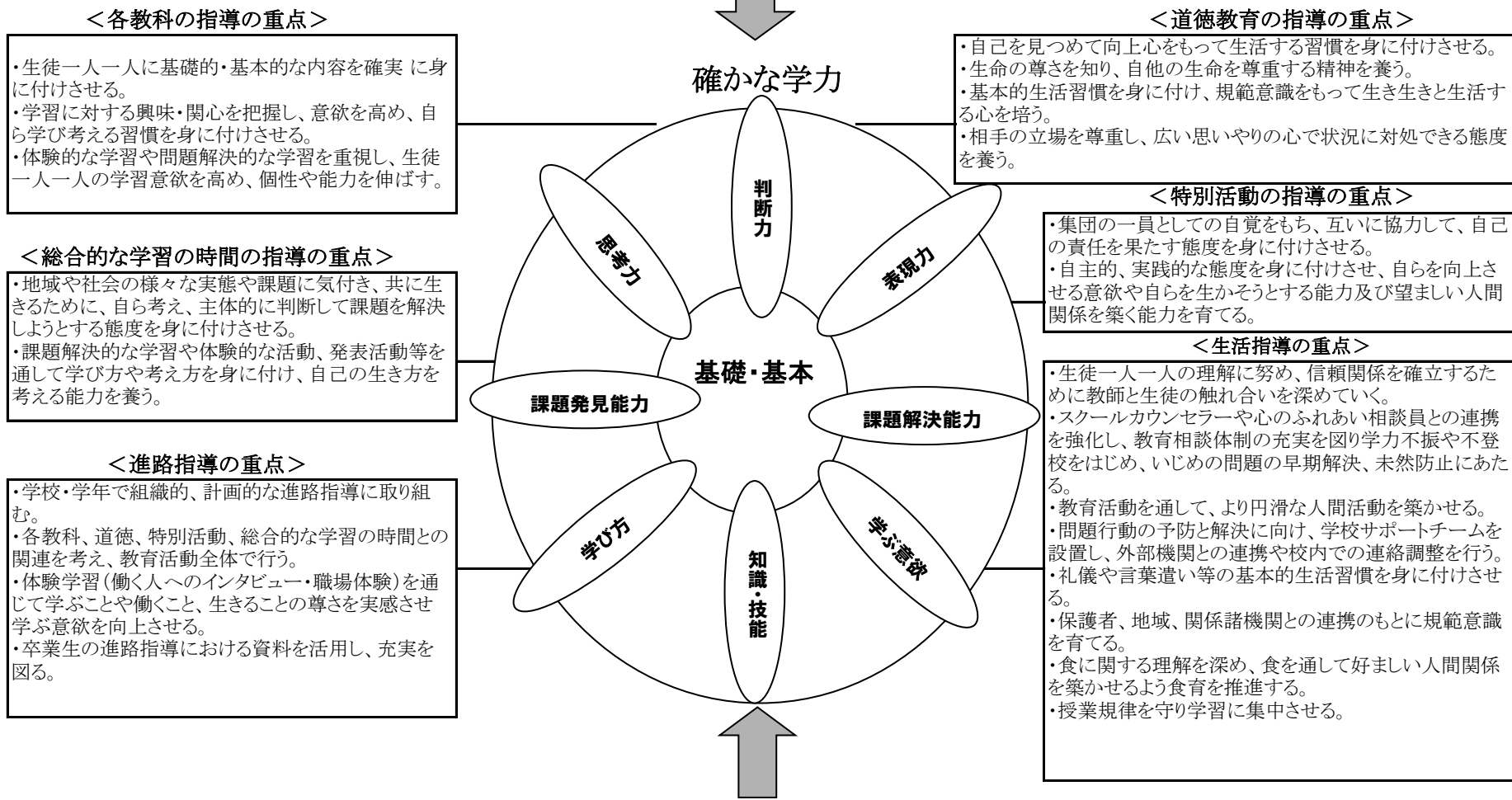
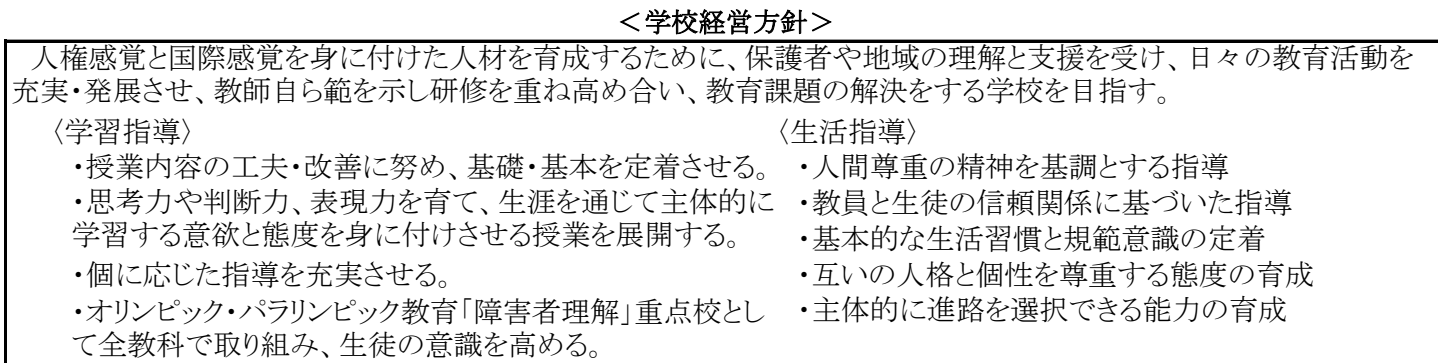
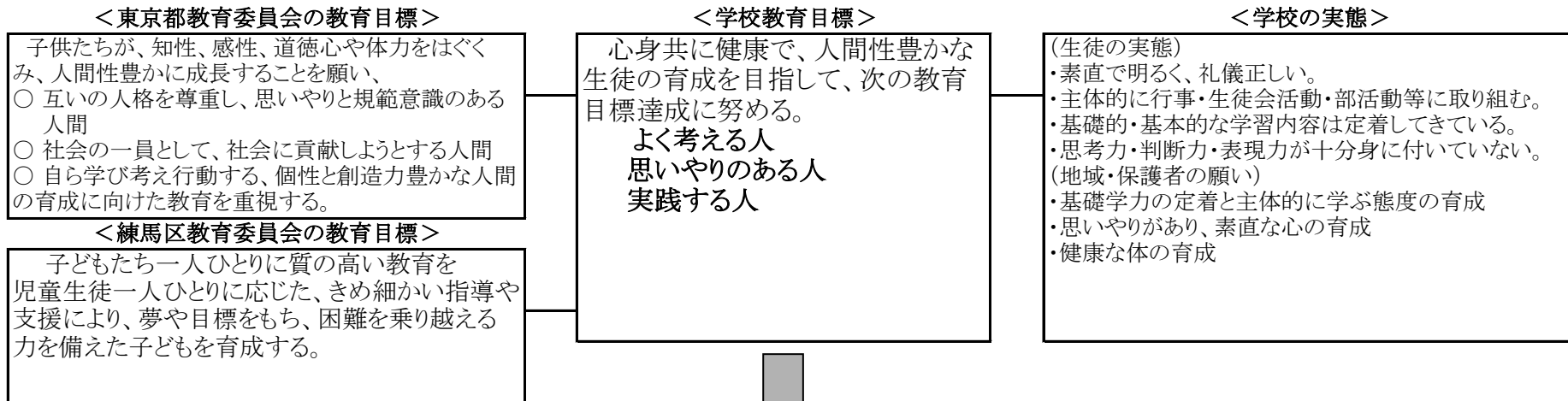


平成28年度 学力向上を図るための全体計画



＜本校の授業改善に向けた視点と工夫＞				
教育課程編成	校内の研究や研修	評価活動	家庭や地域との連携	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> 個別指導、グループ別指導など指導方法の工夫改善を図り、学力補充教室の実施により基礎的・基本的内容を確実に身に付けさせる。 生徒の主体的な学校生活への取組を重視する。 体験的な活動、課題解決的な学習活動を重視する。 貫井図書館と連携し学校図書館を活用した読書活動を推進する。 数学および英語で習熟度別少人数指導を行い、個に応じた学習を展開する。 オリンピック・パラリンピック教育の充実・発展を図る教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解を深め、個に応じた指導の充実を図る。 各教科での教員相互の授業研究や研究授業を通して、授業改善を図る。 教員の特別支援教育に関する理解を深め、適切な教育的支援を行う。 学習指導要領を踏まえた研究や研修の充実を図る。 オリンピック・パラリンピック教育を取り入れた授業研究を行い、教員のオリンピック・パラリンピック教育に対する意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価規準を明確にし、指導と評価の一体化を図り、肯定的な評価の工夫を行うことで生徒の学習意欲を高める。 生徒による授業評価アンケートを実施し、授業改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携して、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 地域の教育力を取り入れた授業を積極的に実施する。 保護者による学校評価アンケートを実施し学校運営や授業改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携小学校との連絡協議会を活性化させ、生徒の情報交換を密にする。 海外派遣生徒の体験を、連携の小学校で児童に説明をし交流の場とする。 小学校での学習内容を踏まえ、中学校の学習内容のオリエンテーションをしながらスムーズに授業を受けられるようにする。 職場体験では連携小学校も体験場所の一つとして交流を図る。 小学生に部活動見学や校内見学等の機会を作り、連携を深める。 数学と英語において、課題改善カリキュラムを作成し、小中で連携した指導を実践する。